



津和野町

9月定例会

No. 16

平成21年

10/25

議会だより

発行 津和野町議会
〒699-5221
津和野町日原245番地1
津和野町役場第2庁舎
TEL 0856-74-0089
印刷 津和野印刷



- 決算審査特別委員会 (2頁～3頁)
- 第6回9月定例会 (4頁～7頁)
- 報告事項 (8頁)
- 一般質問 (9頁～11頁)
- 調査報告・請願・議会日誌・編集後記 (12頁)

(仮称)新昭和トンネル貫通式 (9月27日)
延長：909m

決算審査特別委員会

9月8日から9月17日(5日間)

一般会計及び特別会計決算について認定

【決算審査諸表】

(①一般会計及び特別会計、病院事業会計②町税の収納状況③地方債現在高一覧表④基金明細書(一般会計分))

【審査の結果及び意見・要望】

- 町税については滞納総額は、1億1,835万円で増加傾向にある。不納欠損総額は820万円である。国民健康保険税の滞納額は4,967万円、水道料金の滞納額は803万円、住宅使用料の未収額は984万円。一般会計・特別会計滞納総額は、1億9,300万円である。意見として、税・利用料・使用料の公平性の観点から最終的には法的手段も考慮しながら断固とした徴収姿勢で臨むべきである。
- 平成20年度の基金(預金)残高は一般会計基金15億8,890万円、特別会計4億9,331万円、土地開発基金3,237万円で総額は21億1,460万円である。一方借金である地方債残高は総額145億8,956万円であり、町民一人当たり162万円である。
- 職員の時間外勤務は14,140時間で、金額にして2,978万円になっている。意見として、適切な人員配置とともに労務管理・人事管理の検証を行って効率化を図り、時間外勤務の削減に努力すべきである。
- 住民間連の負担金・補助事業等については、平等性をもって広く住民周知を図り、公平な予算執行を要望する。
- ケーブルTVについては、防災上の利点から取り入れた経緯や、町政情報の公平な提供の観点からも、未加入世帯における告知放送単独加入の検討も含め加入率の増進を図られたい。

①一般会計及び特別会計、病院事業会計

(単位:円)

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額	認定の結果
一般会計	7,718,912,378	7,650,100,929	68,811,449	認定(反対1)
特別会計	3,629,661,739	3,572,752,362	56,909,377	
国民健康保険会計	1,209,177,724	1,179,206,800	29,970,924	認定(反対1)
老人保健会計	177,253,335	178,480,014	△1,226,679	認定(全員賛成)
介護保険会計	1,138,010,619	1,116,133,865	21,876,754	認定(全員賛成)
後期高齢者医療会計	265,221,530	265,006,370	215,160	認定(反対1)
簡易水道会計	436,892,002	435,097,261	1,794,741	認定(全員賛成)
下水道会計	273,656,076	272,442,733	1,213,343	認定(全員賛成)
農業集落排水会計	3,906,178	3,889,613	16,565	認定(全員賛成)
奨学基金会計	17,497,789	17,497,789	0	認定(全員賛成)
電気通信会計	108,046,486	104,997,917	3,048,569	認定(全員賛成)
総合計	11,348,574,117	11,222,853,291	125,720,826	
病院事業会計				
収益的事業	49,670,425	43,761,417	5,909,008	認定(全員賛成)
資本的事業	5,792,713	11,580,500	△5,792,487	認定(全員賛成)

②町税の収納状況

(単位:千円・%)

年度・項目	平成20年度					平成19年度				比較増減	
	調定額	徴収額	欠損額	未収額	収納率	徴収額	欠損額	未収額	収納率	未収額	収納率
町民税	318,090	295,035	1,134	21,921	92.8	296,346	526	20,440	93.4	1,481	△0.6
固定資産税	534,400	432,249	7,069	95,082	80.9	393,856	3,991	89,671	80.8	5,411	0.1
軽自動車税	21,740	20,388	0	1,352	93.8	20,323	80	1,117	94.4	235	△0.6
市町村たばこ税	36,330	36,330	0	0	100.0	37,468	0	0	100.0	0	—
入湯税	3,431	3,431	0	0	100.0	1,332	0	0	100.0	0	—
合計	913,991	787,433	8,203	118,355	86.2	749,325	4,597	111,228	86.6	7,127	△0.4

③地方債現在高一覧表

(単位：千円)

区 分	平成19年度末現在高	平成20年度借入額	平成20年度償還額			平成20年度末現在高
			元 金	利 子	計	
一 般 公 共 事 業 債	500,477	26,400	60,777	9,612	70,389	466,100
一 般 単 独 事 業 債	3,423,261	139,800	805,000	57,460	862,460	2,758,061
公営住宅建設事業債	457,467	5,100	20,280	10,587	30,867	442,287
義務教育施設整備事業債	645,604		39,381	20,251	59,632	606,223
辺 地 対 策 事 業 債	321,808		68,161	3,749	71,910	253,647
災 害 復 旧 事 業 債	72,912		25,931	858	26,789	46,981
一般廃棄物処理事業債	3,534		281	71	352	3,253
厚生福祉施設整備事業債	118,450		18,346	2,484	20,830	100,104
過 疎 対 策 事 業 債	6,635,229	158,800	938,000	93,458	1,031,458	5,856,029
財 源 対 策 債	257,637	100	29,136	5,024	34,160	228,601
減 収 補 て ん 債	7,053		566	142	708	6,487
臨 時 財 政 特 例 債	14,779		1,848	774	2,622	12,931
減 税 補 て ん 債	185,361		18,327	2,318	20,645	167,034
臨時税収補てん債	35,773		3,265	699	3,964	32,508
臨時財政対策債	2,054,800	215,965	70,452	28,191	98,643	2,200,313
調 整 債	8,636		2,525	394	2,919	6,111
市 町 村 振 興 資 金	621,690		239,432	1,995	241,427	382,258
公有林整備事業債	953,453	14,900	3,449	11,264	14,713	964,904
水道事業会計出資債	58,099		2,369	1,176	3,545	55,730
合 計	16,376,023	561,065	2,347,526	250,507	2,598,033	14,589,562

④基金明細書（一般会計分）

(単位：円)

名 称	19年度残高	積 立 金		繰 出 金	20年度末残高
		利子	その他		
財 政 調 整 基 金	793,650,757	3,720,828	16,500,000		813,871,585
減 債 基 金	442,418,465	856,577	26,000,000	99,000,000	370,275,042
郷 土 館 整 備 基 金	4,913,770	17,245			4,931,015
役 場 庁 舎 建 設 基 金	103,988,692	417,094			104,405,786
産 業 後 継 者 育 成 基 金	48,311,029	193,773		400,000	48,104,802
ふるさと創生基金	50,916,150	236,952		6,608,000	44,545,102
ふるさと水と土保全対策基金	12,702,425	50,948		3,000,000	9,753,373
城 跡 観 光 リ フ ト 基 金	8,666,969	30,417			8,697,386
地 域 医 療 推 進 基 金	0		1,000,000		1,000,000
環 境 整 備 活 性 化 基 金	0		20,000,000		20,000,000
観 光 振 興 活 性 化 基 金	0		7,000,000		7,000,000
道 路 整 備 活 性 化 基 金	0		40,000,000		40,000,000
教 育 施 設 活 性 化 基 金	0		7,500,000		7,500,000
文 化 財 施 設 活 性 化 基 金	0		5,500,000		5,500,000
津 和 野 町 ま ち づ くり 基 金	0		100,000,000		100,000,000
ふるさと津和野基金（ふるさと納税）	0		1,610,000		1,610,000
津和野町観光振興基金（入湯税）	0		1,715,000		1,715,000
小 計	1,465,568,257	5,523,834	266,825,000	109,008,000	1,588,909,091
土 地 開 発 基 金	32,249,916	129,353			32,379,269
合 計	1,497,818,173	5,653,187	226,825,000	109,008,000	1,621,288,360

第6回 9月定例会

平成21年度補正予算

一般会計補正予算（第3号）

4億3百2万3千円を追加 一般会計総額78億2百44万7千円

（単位：千円）

歳 入

○地方特例交付金〔1,274〕

○地方交付税〔44,000〕

○国庫支出金〔64,708〕

障害者医療 600

現年公共土木災害 36,018

県補助充当のため地域活性化・経済対策交付金
△15,800

住宅手当 1,115

がん検診 1,291

地域活力創造 9,800

日小耐震化工事等 31,207

○県支出金〔180,707〕

障害者医療 300

しまね総合交付金 1,972

公衆トイレ障害者用 1,567

森林づくり交付金 4,267

森林整備 5,719

林道整備 43,210

観光地公衆トイレ改修 15,000

新津和野観光創造 14,761

緊急雇用創出 31,902

林道新設 3,800

災害復旧（農地、林道） 56,630

デマンド交通実験 702

歳 出

○総務費〔24,237〕

職員共済組合追加 3,698

プール事故関連 1,693

會庭工業団地草刈り 428

情報処理 2,109

デマンド交通実験 704

緊急雇用対策として道の駅周辺草刈りほか
3,027

なごみの里修繕工事ほか 3,162

緊急雇用対策として枕瀬森林公園草刈等
2,088

徴税還付金 2,191

○民生費〔7,885〕

リストラで住居費が払えない人に対する住居手当
1,110

厚生医療費 1,200

チャイルドシート30台ほか 2,000

児童福祉関連 924

○衛生費〔10,266〕

地域相談支援ケアプラン作成（緊急雇用対策）
3,408

がん検診 1,294

笹ヶ谷鉱害防止工事跡地草刈等 931

給水事業補助 1,000

歳 入

○諸収入〔9,275〕

公社造林事業への森林づくり交付金

○町債〔102,273〕

農林業債	27,000
土木債	△1,400
教育債	24,500
災害復旧債	52,000

歳 出

○農林水産事業費〔77,375〕

滝元奥山町有林間伐	1,768
森林組合分除伐・間伐	2,500
森林地域整備支援	5,720
間伐事業	5,223
林道新設工事(三子山線、火の谷分谷線、嘉年坂線法面工事)	43,620
県営林道用地等補償	3,800
県営林道負担金(耕田、内美線)	5,000
緊急雇用対策(大鳥居、県道・国道沿線草刈り等)	3,754

○商工費〔18,293〕

緊急雇用対策(城山ルート刈り払い、歩道整備)	1,168
冬虫夏草研究成果小冊子作成	1,050
ふるさと雇用再生特別基金事業	14,761

○土木費〔27,626〕

津和野地区ため池調査	500
道路橋梁県営工事負担金	△1,200
緊急雇用対策(町道管理支障木等除去)	7,921
日原・青原線等除雪	3,000
町道後畑線、鹿谷線舗装工事	5,000
除雪機購入	10,000

○教育費〔66,883〕

日小耐震補強工事	57,000
学校エアコン工事	395
図書館蔵書整備	1,409
文化財保護費	4,347
文化施設等資料整理	2,400
森鷗外記念館資料整理	1,021

○災害復旧費〔169,350〕

現年農地農業施設災害工事(10ヶ所)	16,006
現年林道工事(16ヶ所)	82,470
現年公共土木工事(17ヶ所)	53,560

主な質疑

(3号補正)

Q デマンド(予約の方式)交通
実証実験はどのような取り組みか。

A 島根県下の市町村でモデル
地区を指定して実施される
もので、本町では停留所まで
相当距離(1km～2km)がある
ような地域を対象として実
施する。一ヶ所は木部地区を考
えている。

Q 緊急雇用創出臨時特例基
金事業費補助金では商工観
光課をはじめ農林課、教育委

員会の事業において雇用対策
が計画されている。雇用条件
等は一律なのか又、事業によっ
ては入札されるのか。

A 雇用形態によって条件は一律
ではない。入札によるもの、公
募するものと自ずと違ってくる。

Q シルバー人材センターに委
託する事業も多くあるが民
業圧迫につながらないか。又
失業を余儀なくされた若者
を中心とするべきではないか。

A 充分配慮していきたい。
ふるさと雇用再生特別基金
事業において観光協会に二名、
道の駅に一名雇用を考えてお

A 三年後の見通しはあるのか。
公共性、継続性、新規性の
観点から採用されたもので歴
史と自然の融合・ワールドワ
イド新津和野観光創造事業
として位置づけている。外国
人観光客や津和野ブランドの
商品開発、歴史・自然を活か
したエコツーリズムなど多様
な戦略を展開していきたい。

Q 除雪機の購入はどのような
内容か。
A 自走式小型除雪機二〇台を
購入。各公民館単位に設置し
たい。

一般会計補正予算（第4号）

2億7千17万8千円を追加 一般会計総額80億9千464万8千円

(単位：千円)

歳 入

- 地方交付税〔11,000〕
- 国庫支出金〔256,298〕
 - 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 157,812
 - 地域情報技術交付金 98,486
- 県支出金〔2,880〕
 - バイオマス津和野事業補助金



はじまった菜種の搾油作業

日本のふるさと・津和野の景観づくりを考える
「景観シンポジウム」 9月12日

歳 出

- 総務費〔14,977〕
 - 裁判和解金 200
 - 木質ボイラー施設整備事業 8,327
 - 修繕費、防犯灯整備 3,279
- 民生費〔15,540〕
 - 六日市養護老人ホームスプリンクラー工事 15,540
- 衛生費〔38,606〕
 - 新型インフルエンザ発熱外来室工事 18,690
 - 上記分の備品購入 3,000
 - 病院事業会計繰り出し 3,711
 - 医師・看護師等確保対策補助金 13,205
- 農林水産業費〔45,579〕
 - 地域ブランド推進事業（蚕飼場施設整備ほか） 8,046
 - バイオマスタウン事業業種栽培機械ほか 23,447
 - 里山森林整備 7,187
 - 森林施業地管理事業（GPSシステム導入費） 4,074
- 商工費〔116,111〕
 - プレミアム付地域商品券事業 21,047
 - 津和野緊急信用保証料補給金 △3,500
 - 津和野・まちごとユビキタス美術館事業 98,564
- 土木費〔40,000〕
 - 町道整備事業（木毛線、北斗台線防災工事費・測量委託）ほか

特別会計

- 病院事業（補正第3号）
 - 病院事業収益 3,711を追加（予定総額668,853）
 - 病院事業費用 3,711を追加（予定総額705,327）

特別会計

○国民健康保険特別会計(補正第2号)	6,196を追加	予算総額1,136,627
○介護保険特別会計(補正第2号)	3,068を追加	予算総額1,109,501
○簡易水道事業特別会計(補正第2号)	1,612を追加	予算総額322,190
○下水道事業特別会計(補正第2号)	778を追加	予算総額286,640
○奨学基金特別会計(補正第1号)	99を追加	予算総額17,733
○病院事業会計(補正第2号)		
病院事業収益を	358を追加	(予定総額665,142)
病院事業費用を	358を追加	(予定総額701,616)

主な質疑

(4号補正)

Q 医師、看護師等確保対策補助金の詳細を。

A 医師や看護師等引き続き確保をしたい。介護福祉士や介護助手さらに理学療法士、作業療法士等も不足している。使途については給与を含め通勤費や手当、非常勤医師の待遇面にも考慮している。補助金を充当することによって、町からの交付金は漸減する。

Q ユギキタス事業は一〇〇%国の事業であるが、費用対効果の上で無駄遣いと考える。今までをどのように検証して、今後どのような効果を期待しているのか。

A 当初は、平成十五年に国土交通省の事業で導入した経緯がある。十二分な利用になり、効果は上がっている。

ない。今回は総務省の事業で観光振興を主目的としている。観光客の町歩き促進や滞在型観光の町づくり、リピーター客の増加を目指したい。

Q 後年度負担は生じないのか。

A 情報更新やバッテリーの交換など年間一〇〇万円程度の維持費が考えられる。携帯端末機の貸出料で費用を賄いたい。個人の携帯電話の利用も出来、利便性が格段上がる。

Q 地域ブランド維持事業で旧日原中学校の寮を改造して蚕の飼育をする計画であるが、地元で事前の説明をしたか。

A 地元への説明はしていない。まずは議会に提案させていただき、ご理解をいただいた上で地元への対応を考えている。

Q 耐用年数や撤去費用が財政上難しいと聞かされている。

る住民にとって、住民説明が優先すると思う。

A 今日までの経過から住民説明が後手に廻った事に対しては申し訳ない。予算上の裏づけのない計画を説明するのも如何かと判断したもので、ご理解をいただきたい。

Q 林業費のチップパーシュレツダー購入は木質ボイラー施設整備事業調査設計委託料と関連があるのか。

A 孟宗竹の処理を主に考えている。木質ボイラー施設整備との関連は今のところないが、利用形態での活用は考えられる。

報告事項

平成20年度津和野町財政健全化判断比率等について

◇「地方公共団体財政健全化法」に基づき平成19年度決算より、4つの財政指標を公表し健全度を診断することとなった。

(単位：%)

項 目	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成20年度	—	—	22.7	175.8
平成19年度	—	—	23.0	237.7
判断基準				
早期健全化基準	14.96	19.96	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	40.0	35.0	—

※早期健全化～財政の健全化計画や財政再生計画を策定し、早期健全化、財政再生に努めなければならない。
起債の制限を受ける。

財政再生～ 基準を越えると事実上、国の管理に置かれる。

監査意見

平成20年度は実質公債比率、将来負担比率共に若干改善されたものの、さらなる軽減を図るため、借入金の償還年数など勘案して、可能な限り繰上償還に努められたい。

報告事項

平成20年度指定管理会社各社の経営状況について

(単位：千円)

会社名	営業期	平成20年度収支状況			繰越利益 余剰金	資本金 (内町出資金)	指定管理料 補助金
		売上高	費用	当期純利益			
(株)津和野	第10	224,781	224,668	113	△26,824	72,000 (60,000)	19,176
(株)石西社	第14	115,922	112,562	3,360	△30,147	80,000 (50,000)	16,683
(株) 柚の里 よこみち	第19	11,168	10,617	551	△ 5,913	12,050 (6,100)	357
(株)日原 リゾート開発	第24	17,995	17,189	806	△11,486	13,500 (7,000)	4,777
(有)フロン ティア日原	第12	29,937	30,452	△515	1,946	10,250 (5,050)	2,131

(注)1、売上高-費用=当期利益-法人税等=当期純利益 △損失

2、当期純利益+前期繰越利益=繰越利益余剰金 △繰越損失

◇指定管理料、補助金は各々の三セク会社の経営努力により、町の持出しが少なくなるよう求める意見あり。

一般質問

“町長勇退に伴う今後の課題は”



沖田 守

残された大きな課題は

問 平成十七年九月二十五日、新生津和野町として誕生以来、私をはじめ町民の中には、両町の合併に少なからず異論があつた中で、この四年間施政方針には、両町間の一体感醸成に視点を置き、施策を講じて来られたと考える。

しかしながら、合併したとはいえ、脆弱な町の財政の中、加えて小泉政権以降の大幅な地方交付税削減や、地方切り捨て政策等が続く中、遅れている社会資本整備や危機に瀕した地域医療・福祉体制の再構築に一定の道筋をつけられたことに敬意を表する。

今期で勇退されるにあたり残された大きな課題は何か。

答 私は、町長選出馬にあたり町民の皆さんに約束したことは、古くから深い交わりを持つて歩んできた二つの町が一つになって新しい津和野町が誕生したので、これからは両町が今まで培ってきた歴史、文化伝統などを大

切にしながら、その特性を十分

活かした町づくりを進めたい。そのために二日も早く一体感の醸成に努め、合併をして良かったと云える町づくりをと訴え、真に合併を完成させることが、私に課せられた使命であつた。このことを常に念頭におきながら、

少子高齢化社会に対応した保健福祉、医療、交通対策や経済基盤となる観光や農林業の振興対策、道路、河川、下水道、簡易水道などの生活関連社会基盤の整備、教育、文化等の振興対策高度情報化社会に対応すべき必要な施策等々を課題として取り組んできた。しかしながら、誠に厳しい社会、経済状況のもとでまだまだ充分でないことが心苦しく思っている。

問 次期首長に何を期待するか

答 町長選挙が終わった後の町民一体感の醸成、確保について、だれが首長になられても、旧町意識が町民の中に残らない様、芽生えない様、最善の努力をしていただきたい。

鷗外生誕150年を観光資源にどう結びつけるか!



河田 隆 資

鷗外生誕150年について

問 三月定例会において、鷗外生誕150年を起爆剤に経済の活性化につながるよう企画、実行してはと提案したが、その後の検討について伺う。

答 教育委員会としては、五月三〇日鷗外記念館協議会にて諮問し貴重な提言を受け、内容を参考に講演会・展示会の方向性を決定した。八月二〇日には商工観光課・情報企画課・観光協会・商工会の合同会議を開き、事業の進め方、実行委員会的な組織づくりについて協議した。一〇月に裾野を広げ町民の皆様の意見集約をした後に実行委員会を立ち上げた。

伝達する組織を作る考えは無

いか伺う。

答 一年前より事務局レベルでの連絡会議を毎月一回行っている。多くの事業実施にあたって実行委員会形式をとることが多く、自ずと連携が図られる面も強いとの報告を受けている。観光立町を標榜する本町としては三機関の情報共有に基づいた連携が大切であると思う。具体的な組織的方策として、県のふるさと再生雇用制度を利用し、新たな観光資源の掘り起こしと、農工商連携による特産品開発を目的に、三名の職員を雇用し、事業推進体制を強化して、目的達成に努力したい。

商工観光課の活性化について

問 経済常任委員会で、商工経済の実態についての調査を行っている。そこで、いつも気になるのは、三者連絡がスムーズでない事を実感する。課の移動・職員の派遣等を考え、迅速に行動・



保険に関係なく地域の集団健診が受けられるように!



竹内 志津子

集団健診について

問 ①特定検診・高齢者健診は順調に進んでいるか。②社会保険の被扶養者でも、地域での集団検診を受けやすい方法はないのか。職員の対応の仕方をどのように指導しているのか。③保険の種類に関係なく、地域での集団検診を受けられるような仕組みを求める。

答 ①平成二十一年度の集団検診の状況は、六月十五日スタートで二三会場が実施済み。特定健診の受診率は現時点で一七％。意識の希薄等もあって不十分。後期高齢者健診の受診率は八月末まで一〇、四％。受診率が低い原因は、成人病などで病院へ通院しているために受診対象にならない人が多いと思われる。

②社会保険の被保険者や家族であつて、保険者から発行された受診票を持参し、保険者が県環境保健公社と委託契約している場合は町が行う健診会場で受診することができる。職

員の対応については、親切丁寧に対応するように指導している。今後も注意する。

③いろいろな制度の中での健診なので、統一することは困難。政権政党が代わつたので推移を見守りたい。

シルク染め織館の有効利用について

問 ①有効利用の計画があるのか。②冬虫夏草増産のために利用する考えはないか。

答 ①幅広い地域資源活用機能を備えた複合施設として活用する。染め織り愛好者に体験作業場として開放、町所有のシルク関連の機械や資料展示、地域工芸品の展示、高津川などの情報施設としての運営を計画。町民の要望や提案を受け年内に決定し、二十二年度から本格運用。②冬虫夏草については、別の施設を利用することにし、必要経費を次の補正予算に計上する予定。

“中島町政、16年間、ご苦労様です”



青木 登志男

まちづくりについて

問 旧津和野、合併後の新津和野町と通算四期にわたり懸命に町政に取り組まれた。その間、国や県と密接な関係を保ちながら町民の生活向上を目指してこられた。特に病院問題は、非常に厳しい状況の中で営企業としての公共福祉の増進に尽力され、町民に安心感を与えるなど大きな役割を果たされた。そして両町合併後の町民の一体感の醸成についても一定の成果を上げられ高く評価し、敬意を表すものである。今後も深刻な少子高齢化の中で、まちづくりは引き続き町政の重大な課題であり、中でも病院・医療の問題、交通網の整備、特に生活バスの問題、それから産業振興や雇用の拡大による定住化の問題である。

答 私は総合振興計画に則り「人と自然に育まれ温もりのある交流のまちづくり」をめざし、

清潔で公正・明朗で誠実・信頼と連帯、創造と活力のある町政をモットーに初代首長を努めてきた。病院問題は最も重要であり、いかなる施策よりも優先して財政措置、医師確保などについても苦慮した。また町民の一体感の醸成についても一定の評価をいただき有り難い限りである。今後は新しい首長のもとで、「町政は一つ」であることの意志を受け継いでいただき期待するものであります。本当に有り難うございました。

防災の対応について

問 七月の大雨のように大気の状態が不安定になり局地的な強い大雨が降る可能性が大である。地域防災計画は重要であるが、いかにすばらしい計画でも推進する為には平素からの住民間や行政との日頃からの情報の交流が重要と考える。

答 災害時要援護者避難支援計画の策定に取りかかり、全戸調査や自主防災組織づくりに努める。

行政に現場主義を



青木 克 弥

新しい執行体制について

問 今期をもって勇退される町長として、これまでの様々な経験と、信条をとおして、次の町長に是非、引き継いでもらいたい事項があると思うが、どの様に考えているか。次に副町長、教育長、参事に問う。

多くの町民から、現状の役場に対しての様々な批判を聞かされる。その多くは、町民の思いと執行側との思いに乖離があるからだと感じているが、それぞれの立場でどの様に認識しているか。今、何をなすべきと思うか。さらに、どの様な執行体制が望ましいと考えているか。

答 (町長) 既に他の議員に答えているとおりだが、あえて云うならば、新町総合振興計画に則り、それを着実に実行してもらいたいということにつきる。後段の質問は極めて厳しいものであるが、私は常に役場はそこに住む住民のためにあるということを職員に伝え指導してきたが、現実にその様な事のない様、今後なお一層努力しなければならぬと考えている。

(副町長) 行政は常に住民のためにあると考えているが、住民との間に乖離があるとするならば、それをなくするための努力を最大限にしなければならぬと思う。また、住民と行政には立場の違いがあるので、情報の共有の思いを持って住民と行政の距離を少なくすることが大切である。

(教育長) 私自身は乖離があるとは思っていないが、あるとすれば反省する。基本的には行政情報をもとに、住民と対話することが重要だと考えている。

(参事) 今まで指摘されてきているが、それは行政に対する住民の期待感の現れでもあると思う。机上で考えるだけでなく、物事を進めて行く上で住民と協働して実行することが必要と考えている。何事も住民の目線できらえ、少数の意見でもとり上げていく姿勢が大切であると思う。

○工事請負契約の締結

第5回 臨時会 7月22日

※工事箇所 町道成日照線

※目的 大雨により崩壊した

法面の復旧・災害防止

※契約の金額 四、三八九万円

※請負者 堀建設(株)

※入札参加業者 一〇社

※落札率 八二・五%

全員賛成で可決

○物品購入契約の締結

第6回 9月定例会 9月25日

※目的 学校情報通信技術

環境整備事業によるデジタルテレビ、電子黒板等の購入

契約

※物品 デジタルテレビ50イン

チを各学校・公民館に六九セット

ト 電子黒板、デジタルビデ

オカメラを各学校に二〇セット

※契約の金額 三、三三七万円

※契約の相手方

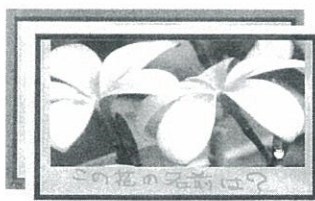
ながみね電器(代)長嶺勝弘

津和野町日原一八五の二

全員賛成で可決

契約及び財産の取得又は処分に関する条例(第52号)により予定価格七〇〇万円以上の不動産もしくは動産の買入れ等については議会の議決を要する。

学校教育用 プラズマタッチ



TD-502UF-PA
(プラズマディスプレイ設置時)
※黒色はオプション製品です。

「タッチパネル使用すると…」

明るい教室内で写真のデータや教材資料をクラス全体で共有できます。

生徒：画面が変わることにより授業への集中度が高まります。自分の

発言が即座に反映されるため、授業に対するやる気も高まります。

先生：前の授業のデータを保存すること、何度も同じ板書を繰り返す必要がありません。授業は生徒さんとのコミュニケーションに集中して進めることが出来ます。

授業：全員が一つの画面を共有することで、クラス全体にまとまりが生まれます。

れます。

所管事務調査報告

経済常任委員会

◇商工観光業の現状について

「商工観光課」

●観光PRと言う点から地域再生特産品キャンペーン事業など関係機関と密に連絡・協議したい。

●緊急融資制度に債権者が集中している。調整し推移を見守りたい。

●SL山口号復活三〇周年事業など観光協会と計画・協議する。

「商工会」

●プレミアム付き商品券は有効であった。再チャレンジしたい。

「観光協会」

●新商品開拓へ努力し関係機関と連絡を取り整理する。

●食讃会の会員拡大に努力し誘客を図りたい。

●ホームページによる広角度からの宣伝効果を図り観光資料の整理活用に取り組みたい。

調査結果

一、知名度アップの予算が必要と考えられる。

二、各会の事業を地域住民に

も知らせ、地域の盛り上げを図ると同時に会員への周知徹底を行うべきである。

三、CATVの活用を検討すべきである。

四、外国人観光客に対する対応が遅れている。看板・パンフレット等早急に関係団体と協議すべきである。

五、萩・石見空港から津和野町へのアクセスが非常に悪く、関係団体への相談・要望すべきである。

請願

☆後期高齢者医療制度をめぐる請願

提出者 島根県社会保障推進協議会

会長 池淵 栄助

趣旨

国は、保険料を払うことが出来ない高齢の保険料滞納者への資格証明書交付には、極めて抑制的であるよう自治体と広域連合会に指示しています。安心して必要な医療を受けることが出来るよう適切な措置を講じて下さい。

反対十一賛成少数で否決

☆津和野町立青原小学校の体育館の改築に関する請願

提出者 町立青原小学校

PTA会長 坂崎 守

趣旨

津和野町立青原小学校の体育館の老朽化に伴う早期改築について

文教民生常任委員会に付託

津和野町国民健康保険条例の一部改正について

被保険者又は被保険者であった者が平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産したときに支給する出産育児一時金について現行の三五万円を三九万円にする。

全員賛成 可決

議会日誌

(6月定例会以降)

7月3日 広報委員会

14日 広報委員会

17日 経済常任委員会

公報委員会

7月22日 第5回臨時会

全員協議会

8月7日 全員協議会

10日 議員派遣

益田市議会主催

講演会「島根県におけるヘリコプターの医療分野への活用」

9月4日 議会運営委員会

編集後記

清流高津川では鮎漁も後半に入りそこそこの体長です。中には子持ち鮎の姿も観えます。又モクズ蟹は九月に入る頃から旬になり食べごろです。毎年漁期に入ると釣り人と鮎との格闘を目にします。私もその一人です(笑)。鮎も解禁当初より今では思考能力を蓄えたのか、中々手に負えなくなっています。鮎と人間との知恵比べとも言えるでしょう。

津和野町は日本海も近く、中国山地の山々には四季折々の山菜など自然素材が溢れんばかりです。この様な町は全国にそう無いでしょう。人と自然に育まれ安心して住める街づくりのためにも、商品開発による特産品や観光、レジャーの誘客など町が生き残るために鮎に学び知恵を絞ることが必要ではないでしょうか。さて、冬にはイノシシとの知恵比べも……

(村上 義一)

編集委員

板垣 敬司 中岡 誠
沖田 守 斉藤 和巳
滝元 三郎 村上 義一